

KONAMI

2022年度 コナミグループ報告書

2022年4月1日～2023年3月31日

コナミグループ株式会社

証券コード：9766

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より多大なるご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

当社は3月19日をもちまして会社設立50周年を迎えました。変化の激しいエンタテインメント業界において半世紀の間、創業のブランドを維持し今日まで成長を遂げることができました。これからも時代の新たな波頭をとらえるべく変化に機敏に対応し挑戦を続け、持続的な成長を目指してまいります。次の50年におけるコナミグループの更なる飛躍にご期待ください。

新型コロナウイルス感染症の発生から3年余りが経過し、様々な制限は緩和され社会はニューノーマルで活発な日常に急速に移りつつあります。2022年度は主にゲーミング&システム事業のコロナ禍からの回復などを受けた結果、6期連続での増収となり、売上高は過去最高を更新いたしました。

この業績を受けて1株当たりの年間配当金は前年度比で0.5円の増配となり、普通配当としては過去最高の124円とさせていただきます。今後も業績を拡大することで更なる配当水準の向上に努めます。

今年の3月には「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」に新しく「コナミ大阪スタジオ」を開設しました。クリエイターがそれぞれの能力を最大限発揮できるよう整備された環境が特徴で、西日本地区の主要な制作拠点として商品開発に必要なモーションキャプチャー機器やサウンドスタジオ設備なども完備した最先端のオフィスです。中長期的な成長を実現するにあたっては、優秀な人材を確保し、クリエイターがベストなパフォーマンスを発揮することができる最高水準の研究開発環境を整えることが重要と考えます。これからも積極的な人的資本への投資を通じて競争力を強化していきます。

当社が研究開発を進めるエンタテインメントの領域には、AI、5G／6G、VR／AR、NFT(非代替性トークン)、Web3.0、メタバースなど次世代のテクノロジーやサービスが密接に関わってきます。これらを活用することで、これまでにない革新的な商品・サービス、ユーザー体験をご提供するフィールドが広がっていきます。またスポーツの領域では、ウェルビーイングの実現が持続可能な社会における重要課題となる中、運動を通じて健康を維持することの社会的な意義は大きくなり、当社の果たす役割と責任は重みを増していると考えます。当社がビジネスを展開するエンタテインメントとスポーツは将来有望な事業領域であり、これらの分野で更なる成長を追求してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



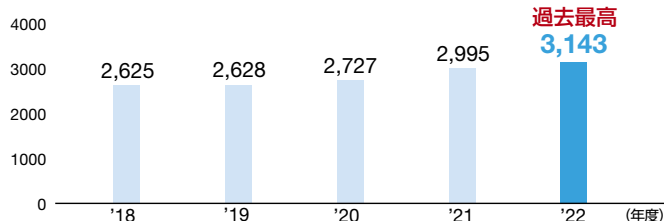
代表取締役社長
東尾 公彦

連結決算ハイライト

注：国際会計基準(IFRS)に準拠して表示しています。

売上高

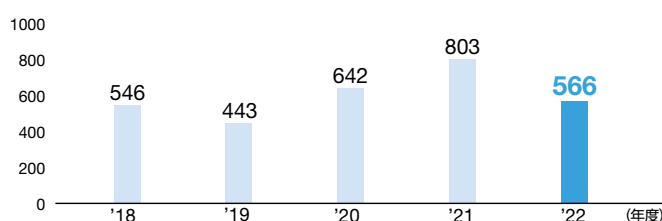
(億円)



前年度比
4.9%増

事業利益

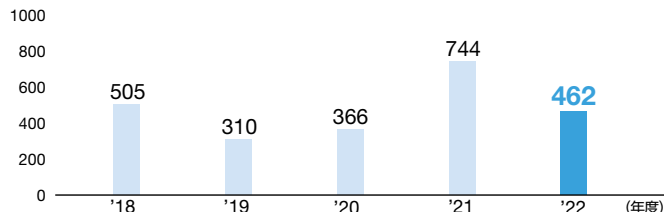
(億円)



前年度比
29.5%減

営業利益

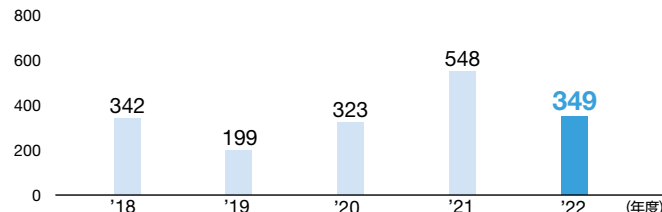
(億円)



前年度比
38.0%減

親会社の所有者に帰属する当期利益

(億円)



前年度比
36.3%減

当連結会計年度の売上高は3,143億2千1百万円(前年度比4.9%増)、事業利益は566億1千1百万円(前年度比29.5%減)、営業利益は461億8千5百万円(前年度比38.0%減)、税引前利益は471億2千万円(前年度比37.3%減)、親会社の所有者に帰属する当期利益は348億9千5百万円(前年度比36.3%減)となりました。

デジタルエンタテインメント事業では、「2023 World Baseball Classic™」のグローバルスポンサーとなり、日本代表「侍ジャパン」をオフィシャルパートナーとしてサポートしました。本大会に関連したプロモーションや施策を展開したことで、「プロ野球スピリッツA」が盛り上がりを見せています。また、「eFootball™ 2023」においてアップデートや施策を重ね、世界的なサッカー熱の高まりと相まってダウンロード数が6億を突破しました。カードゲームでは、遊戯王カードゲーム25周年記念プロジェクトを始動しました。配信開始から1周年となった『遊戯王 マスターデュエル』との相乗効果もあり、コンテンツ全体の勢いが増えています。eスポーツでは、国際オリンピック委員会(IOC)主催の「オリンピックeスポーツシリーズ2023」の競技タイトルとして「WBSC eBASEBALL™ パワフルプロ野球」が選出されました。

アミューズメント事業では、アミューズメント施設向けビデオゲームの

『麻雀ファイトガール』やメダルゲームの『桃太郎電鉄 ～メダルゲームも定番！～』が稼働を開始しました。また、アーケードゲームをPCやスマートフォンでいつでも楽しむことができるサービス「コナステ」が、「コナステ メダルコーナー」を中心に堅調に推移しています。

ゲーミング&システム事業のスロットマシンでは、北米市場、豪州市場において、複数の賞を受賞している「DIMENSION」シリーズが引き続き注目を集めています。ゲーミングコンテンツでは、1台の筐体で複数のタイトルから好きなコンテンツを選んでプレーできる「SeleXion™」の市場への展開が拡大しているほか、カジノマネジメントシステムでは、キャッシュレスカジノを実現する「Money Klip™」など、多彩な機能を充実させ、引き続き堅調に推移しています。

スポーツ事業では、施設でのサービス提供に加えてオンラインサービスを充実させるなど、安全・安心な運動機会の提供に努めました。また、受託事業において、これまで培った運営・指導のノウハウや実績を活かし、新たなスポーツ施設の運営や学校水泳授業の受託を開始しました。子ども向け運動スクール「運動塾」においては、映像とAIを活用したデジタルサービス「運動塾 デジタルノート」の提供を引き続き推進しました。

より詳細な財務情報については、当社ホームページに掲載している決算短信などをご覧ください。

<https://www.konami.com/ir/ja/ir-data>

トピックス

デジタルエンタテインメント事業



WBCで活躍した日本代表がゲーム内に登場 『プロ野球スピリッツA』WBCコラボ

2023年3月、KONAMIがグローバルスポンサーを務めた「2023 World Baseball Classic™ (以下WBC)」で14年ぶりに世界一を奪還した侍ジャパンのメンバーを、モバイルゲーム『プロ野球スピリッツA』に実装しました。メジャーリーグで「二刀流」として活躍し、大会MVPの大谷翔平選手が投手と打者でそれぞれ登場したほか、吉田正尚選手や山本由伸選手、村上宗隆選手らWBC 2023で活躍した選手28名が登場しました。また、WBC 2006/2009で日本を優勝へと導いた松中信彦氏、福留孝介氏やイチロー氏、松坂大輔氏ら当時の代表選手を実装する、ゲームならではの時代を超えたコラボも実施し、野球ファンの皆様から厚いご支持をいただきました。

また、WBC 2023を通して、スタジアムの看板やテレビCMで『プロ野球スピリッツA』のプロモーションを行うなど、認知拡大も図りました。今後も、当社の野球ゲームの魅力を世界中に発信していきます。

アミューズメント事業



幅広い世代に人気の「桃鉄」シリーズ初のメダルゲーム 『桃太郎電鉄 ～メダルゲームも定番！～』

新作メダルゲーム『桃太郎電鉄 ～メダルゲームも定番！～』が、2023年3月より全国のアミューズメント施設で稼働を開始しています。

すぐろくをモチーフにした国民的家庭用ゲーム「桃鉄」シリーズ初のメダルゲームとなる本作では、筐体内のサイコロを実際に振ることができる仕組みや、大当たりのメダルを払い出す列車など、メダルゲームならではの様々な演出で「桃鉄」を体感することができ、子供から大人まで幅広い世代のお客様にご好評いただいています。

また、累計販売本数350万本を超えるヒット作である家庭用ゲーム『桃太郎電鉄 ～昭和 平成 令和も定番！～』(Nintendo Switch™)とのコラボキャンペーンを実施するなど、事業の垣根を超えたプロモーションを行いました。今後も当社の人気IPを様々な媒体に展開することで、KONAMIのコンテンツの魅力をより多くの方々にお伝えしていきます。

ゲーミング&システム事業



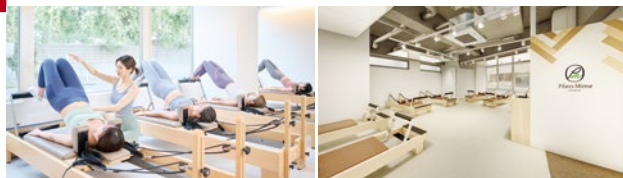
「DIMENSION」シリーズを欧州で紹介 「ICE London 2023」に出展

2023年2月にイギリス・ロンドンで開催された、ヨーロッパ最大級のゲーミング展示会「ICE London 2023」に出展し、業界関係者から高い評価をいただきました。

KONAMIブースでは、当社の主力商品であるスロットマシン「DIMENSION」シリーズのうち、最新ゲーム『Mystical Pearl™』などを搭載する、縦に並んだ3枚の画面が特徴の『DIMENSION 27™』を出展したほか、『Ocean Spin™』、『Fortune Mint™』などの人気ゲームを楽しむことができる『DIMENSION 49™』、曲面モニターが特徴の『DIMENSION 49J™』も展示しました。また、当社が展開するオンラインゲーミングや、数々の受賞歴を誇るカジノマネジメントシステム「SYNKROS®」についても紹介しました。

ICEの来場者数は4万人を超え、拡大を続けるゲーミング市場に世界中の注目が集まっています。今後も、世界中のゲーミング市場に魅力的な製品をお届けしていきます。

スポーツ事業



Pilates Mirror

by Konami Sports Club



<https://www.konami.com/sportsclub/pilatesmirror/>

©Konami Sports

天井ミラーを使った大好評の女性限定ピラティススタジオ 首都圏で「ピラティスマラー」の店舗拡大中

ボディラインや姿勢の改善に効果的なエクササイズであるピラティスと、天井の鏡を組み合わせたスタジオ「ピラティスマラー」が、若い女性を中心に大変ご好評いただいています。

レッスンは1回30分で、荷物や着替えを持たずに受けられる手軽さながら、専用器具「リフォーマー」や天井の鏡を利用することで、正しいフォームで効果的なエクササイズを実現できます。少人数制レッスンであることも特徴で、初心者の方でも安心してピラティスを楽しむことができます。

2022年までにオープンした二子玉川・桜新町・吉祥寺の3店舗で会員数が好調に推移していることを受け、2023年は経堂・自由が丘・中目黒・学芸大学・溝の口・宮崎台に6店舗を新たにオープンしました。

7月には武蔵小山・大岡山にもオープンするなど、今後も出店拡大を予定しており、楽しみながら心身の健康を育むことができる「ピラティスマラー」をさらに多くの方々に提供していきます。

次世代を支える人材への投資を加速

KONAMIは2023年3月19日に会社設立50周年を迎えました。次の50年に向けて企業価値を持続的に高めていくためには、企業の成長を支える「人材」を確保し、育成するための投資が不可欠です。テクノロジーの進化が人々の生活に様々な変革をもたらす中で、時代の波頭をとらえた商品・サービスを開発し続けるため、クリエイターが活躍できるような環境を整えるための施策を幅広く展開しています。

2023年3月27日には、西日本地区の一大制作拠点である「コナミ大阪スタジオ」を、大阪梅田の中心に位置する駅直結のオフィス「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」(大阪市北区)

にオープンしました。「クリエイターファースト」をコンセプトに掲げるこのスタジオは、最先端の商品開発に必要なモーションキャプチャー機器やサウンドスタジオ設備などを完備し、クリエイターがそれぞれの能力を最大限発揮できるような環境を整えています。

さらに、2025年には東京都江東区有明に、コナミグループ史上最大規模となる研究開発拠点「コナミクリエイティブフロント東京ベイ」が竣工予定です。クリエイターの議論から生み出された「創造に向かい合う最前線」というコンセプトを基に設計されたこのオフィスは、研究開発に必要な最高水



「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」

KONAMI CREATIVE FRONT T O K Y O B A Y



「コナミクリエイティブフロント東京ベイ」完成イメージ図



「健康経営優良法人2023(ホワイト500)」認定証



女性が働きやすい環境を整備(えるぼし・くるみん認定取得)

準の研究開発環境が整えられ、デジタルエンタテインメント事業を中心に、Web3.0やメタバースなど、進化を続けるテクノロジーに対応した革新的な技術・サービスの開発を推進します。設計面でもアイデアやイノベーションを創出するための様々な工夫が施され、全てのフロアがらせん状につながれているほか、気分転換を図ることができるカフェテリア、緑化を図った開放感のある屋上庭園も備え、コミュニケーションが生まれる空間となっています。加えて、eスポーツをはじめとするイベントの生放送や動画配信などにも対応したスタジオやショップなどの設置も計画し、複合施設として有明地区全体の賑わいを創出していきます。

また、多様な人材が能力を十分に発揮できる環境を整えるため、従業員エンゲージメントの向上とダイバーシティの推進を目的とした幅広い施策を展開しています。従業員が健康に働ける職場づくりを目的に推進している「健康経営」においては、看護師・保健師が事業所に駐在し、産業医と共に定期健康診断や保健指導を実施しているほか、従業員がコナミス

スポーツクラブを無料で利用できる福利厚生制度を導入するなど、従業員の健康保持・増進の推進に関する様々な取り組みを実施しています。その結果、健康経営に優れた企業として、「健康経営優良法人2023」の上位500社のみが認定される「ホワイト500」に7年連続で認定されています。また、女性の活躍推進についても取り組みを進め、女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定で最高位となる3つ星を取得しました。人材開発にも注力し、役職別の研修に加えて制作系社員を対象とした技術系研修など、目的別の研修を充実させることで、スキルを身に付ける機会を作っています。さらに、2023年3月には、従業員のエンゲージメント向上を目的として、国内グループ各社の正社員を対象に、年平均60万円ベースアップとなる基本給の大幅な引き上げを行いました。

人的資本への投資をさらに加速させ、多様な人材がその力を十分に発揮できる環境を整える様々な施策を展開することで、当社はこれからも時代の波頭をとらえた商品・サービスを提供し続け、持続的な成長を実現していきます。

会社概要

商号	コナミグループ株式会社
英文商号	KONAMI GROUP CORPORATION
本店	〒104-0061 東京都中央区銀座一丁目11番1号 TEL(03)6636-0573 FAX(03)6893-1573
創業	1969年3月21日
設立	1973年3月19日
資本金	47,398百万円
連結従業員数	8,857名(2023年3月31日現在) (月間160時間換算の臨時従業員含む)
ホームページ	https://www.konami.com

株式の状況 (2023年3月31日現在)

授権株式数: 450,000,000株
発行済株式総数: 143,500,000株(うち自己株式7,941,177株)
株主数: 24,860名
大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	30,142	22.24
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	17,711	13.07
一般財団法人上月財団	17,100	12.61
KOZUKI HOLDING B.V.	15,700	11.58
コウツキキャピタル株式会社	7,048	5.20
JP MORGAN CHASE BANK 380815	6,530	4.82
KOREA SECURITIES DEPOSITORY-SAMSUNG	3,538	2.61
STATE STREET BANK WEST CLIENT -TREATY 505234	1,598	1.18
HSBC HONGKONG-TREASURY SERVICES A/C ASIAN EQUITIES DERIVATIVES	1,472	1.09
JP MORGAN CHASE BANK 385781	1,263	0.93

(注)持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031(平日9:00-17:00)
ホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公告の方法	当社のホームページに掲載する https://www.konami.com

【単元未満株式の買取または買増請求について】

所有される株式のうち、単元未満(100株未満)の株式につきましては、株式市場での売買ができず、株主総会での議決権もございません。

当社では、このようなご不便を解消するために、単元未満株式の「買取」または「買増」を請求できる制度を実施しています。

詳細につきましては右記までお問い合わせください。

一般口座をご利用の株主様	口座のある証券会社
口座をお持ちでない株主様 (特別口座の株主様)	三井住友信託銀行 証券代行部 ☎0120-782-031 (平日9:00-17:00)

